資料５－５

自己紹介

👧 雨宮綾南　学部３年

🏠 長野県　諏訪地域出身

🏫 山梨大学　生命環境学部
地域社会システム学科
観光政策科学特別コース

🚃 諏訪の実家から電車通学

大学について

山梨大学を選んだ理由

・実家から通える大学だったから

・様々な分野が学べる、観光コースがあるから

山梨県の良さ

・自然が多く、四季が豊か

・個人経営のお店が多い

・人と人の繋がりが強い

地域の中での学び

Miraiプロジェクト

企業や団体のニーズや課題に基づいて、学生と協働で行うプロジェクト

・社会との新たな繋がりを築くことができる

・社会で役に立つ実践力を身に着けることができる

目的

①山梨の産業・企業・観光資源の周知を図るとともに
　学生に対する山梨県の魅力度アップを狙う

②甲府商工会議所のネットワークを利用し、
　オリジナリティの溢れるツアーを作る

ターゲット　山梨県内在学中の大学生

甲府商工会議所　×　山梨大学・山梨県立大学・山梨学院大学（計5人）

山梨をもっと知る、学生向け「産業観光ツアー」プロジェクト

行った企画

第１回

一夜限りの花火大会開催！山梨産業観光ツアー

～ここでしかない体験で今年最後の夏の思い出を～

ツアー料金　　7,900円（税込）ツアー実施日　9月25日（月）

第２回

山梨県大学生格付けチェックツアー

対象者：山梨県内大学生

参加料金：3000円程度　　実施日：2月7日(水)

地元住民と移住民、企業とクリエイター、子供とお年寄りが繋がり、新しい出会いが生まれるお祭り

こぶちさわすずらん祭り実行委員会
山梨大学・山梨農林大学校　計５人

プロジェクトの目的

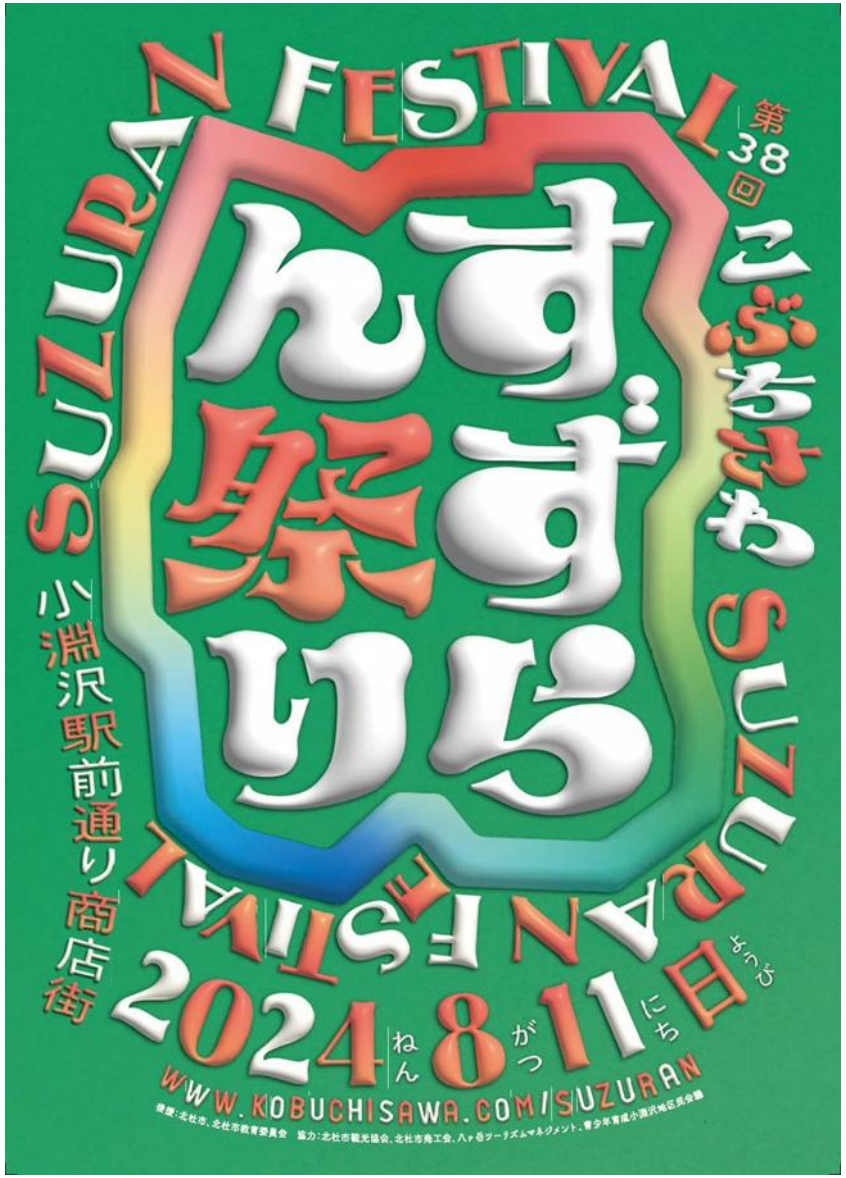
1．**こぶちさわすずらん祭り**を盛り上げるために、

・祭りの企画・運営

・高校生が企画・運営をするブースのサポート

・大切なチームワーク、地域課題に解決する
　デザイン力を身に着ける

2．来年度に向けた運営の仕組み化



ステージ

【当日までに行ったこと】

・出演者との打ち合わせ

・お祭り当日の流れの確認

・ステージのエリア確認

【当日行ったこと】

・MC

・抽選会の準備

・タイムテーブルの管理

・ステージの現状管理

広報

【当日までに行ったこと】

・SNSによる出店者・出演者の紹介

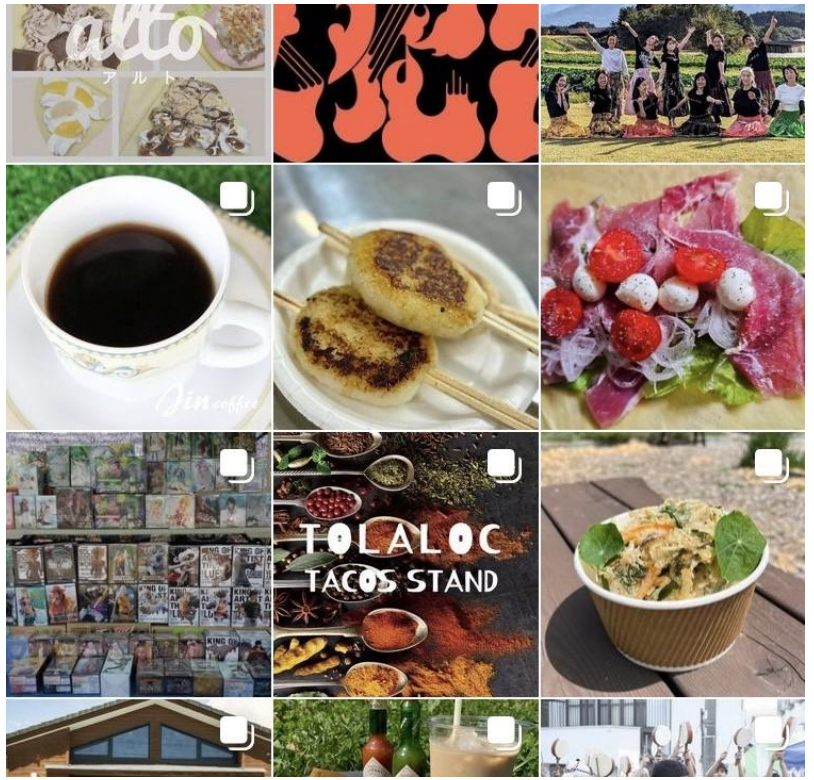
・ホームページ作成

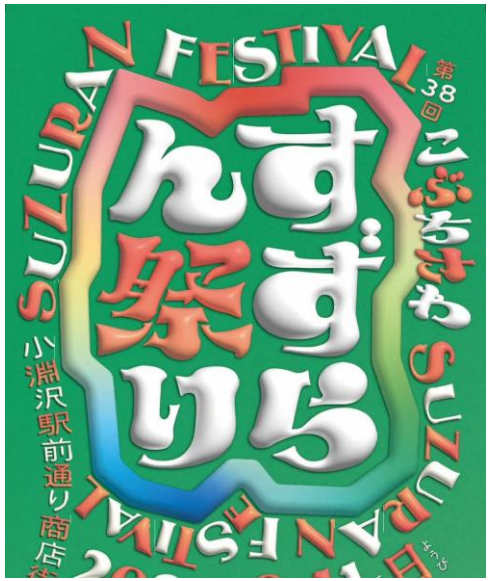
・出演される落語家への取材

・当日のエチケットなどのアナウンス

【当日行ったこと】

・ストーリー投稿・撮影





三

小淵沢の夏を体感しよう！

すずらん祭りとは？

今年で38回目を迎える「こぶちさわすずらん祭り」は、小淵沢駅前商店街で「小淵沢町練り込み囃子」やキッチンカー出店、パフォーマンスが行われ、町中のこどもや学生、お年寄りも楽しみにやってくる小淵沢の夏の風物詩です。徐々に関係者や参加者が増え、昨年は3,000人以上の人が集まりました。今年も当日のお客さんとしてはもちろん、ボランティアスタッフや協賛サポーターとしてすずらん祭りを盛り上げて、一緒に小淵沢をおもしろい町にしていきましょう！

本部

・離乳室・キッズルーム・救護室の準備
・ボランティア(高校生スタッフへの指示だし)
・本部テントでの出場団体、ボランティアの受付
・本部での対応(落とし物、質問、うちわ売り)

出店

【当日までに行ったこと】

・販売する商品の試作

・材料、設備準備

・顔はめパネルの作成

【当日行ったこと】

・商品の仕込み

・調理と販売

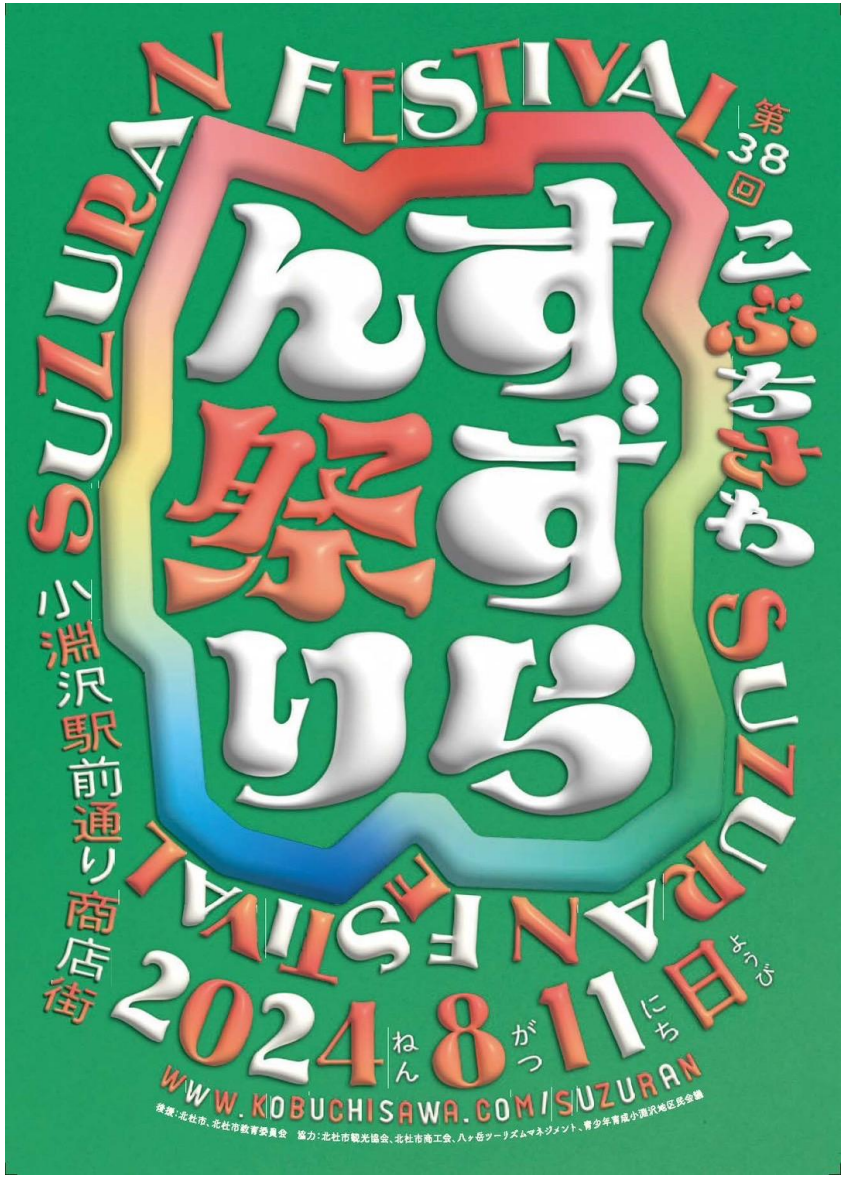
SDGsを考えた出店・募金活動も行った

こぶちさわ
すずらん祭り

昨年との比較

- 出演団体数　　１０→１２
- 来場者数　　約3000人→約3500人
- 出店数　　３５店舗→４６店舗
- ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ数　　１００人→１７０人

→　**昨年より規模を大きく開催することができた**



全体の反省

良かった点

・地域の方の温かさを感じることができた

・学生スタッフが関わることで、学生の来客者が増えた

・幅広い世代の方に楽しんでもらえた

反省点

・各個人ごとに仕事が偏り、情報共有が不足していた

・事前連絡があまりできず、当日まで知らないことがあった

→マニュアルを作り、仕事の振り分けをできるようにする
　自分の分担以外の情報も共有し、把握する

地域で学ぶことの意義

・地域の課題を身をもって知ることができた
・様々な世代の方々や住民、企業の方と関わることができた
・地域で行われるイベントの重要性が分かった

・自分の地域に置き換えて考えることができた
・性別や世代の垣根を超えた関わりの大切さを感じた
・住民同士の繋がりの大切さを学ぶことができた